

防災だより

清武せいりゅう支援学校

第3号

平成29年12月19日発行

防災対策推進委員会

防災だより第3号では、11月の防災週間を中心に10月～11月の主な取組についてお知らせします。

本校の主な取組(10～11月)

○10月 防災備蓄品保管場所の分散
備蓄品はこれまで、校長室前視聴覚室
(*水のみ体育館ステージ下)で一括管理
していました。そこで、防災に関する
研修の講師をしていただいた初鹿野聡さん
(NPO法人ハートム理事)のアドバイス
にもありましたとおり、新たに、自立活
動室Ⅲに備蓄品の一部を移動させ、分散
管理をすることにしました。



○11月 スクールバス緊急対応訓練
『朝、スクールバス乗車中に震度6の地震
発生。道路、建物への影響はほとんどなく、
スクールバスが走行可能な状況。大津波警報
発令。電話回線使用不可。』という想定で対
応訓練を行いました。171災害伝言ダイヤル
を使った情報伝達・確認訓練や学校からの
防災メール配信の訓練を行いました。

防災週間(11月)の取組み

防災袋の確認、防災行動訓練・・・。防災に関する活
動をとおして防災意識を高める週間です。

① 1日 みやざきシェイクアウト(県民一斉防
災行動訓練)への参加

シェイクアウトとは、2008年にアメリカで始
まった地震に備える防災訓練で、決められた時刻に
参加者が地震から身を守るための行動を約1分間
実践する訓練です。本校でも午前10時に訓練開始
の放送を入れ、それぞれがその場の状況に応じて安
全確保行動をとりました。なお、Jアラートによる
情報伝達が行われた場合も意識しての訓練実施で
した。



② 図書室防災コーナーの設置
 防災関係の本や紙芝居を新たに
 購入し、図書室に防災コーナーを
 設置しました。図書教育をと
 おして災害について知ったり、身の守
 り方を考えたりする取組です。



③ がれき体験コーナーの設置

災害後には倒れ落ちた物や割れたガラスなどがれきが散乱する場合があります。ペットボトルのキャップをがれきにみたく、廊下に敷き詰めました。そこを通ってみると、車椅子が空回りしたり、キャップがはじけ飛んだり・・・これがガラスだったら・・・など、災害時の行動について体験をとおして考えました。

***がれき体験実施のため、9月にペットボトルキャップの収集箱を正面玄関に設置したところ、たくさん集まりました。御協力、本当にありがとうございました。**

④ 13日 避難訓練(火災)・煙体験
 火災発生を想定して避難訓練を行いました。また、煙が充満するとどのような状態になるのか実際に体験するため、煙体験を行いました。スモークマシンによる水蒸気を使った体験と、南消防署の協力による煙体験テントでの体験の2カ所に分かれて実施しました。



←
煙体験
テント

左：スモークマシンによる体験
 右：煙体験テントに入っていく生徒



⑤ 防災備蓄品展示

学校の備蓄品をはまゆうストリートに展示しました。

展示物(一部)：食料品、アルミブランケット、緊急簡易トイレ、マスク、懐中電灯、歯磨きティッシュ、ガスレンジ、ガスボンベ、ヘッドライト、ラップ

